

REEL No. A-0505

0075

アジア歴史資料センター

第三 朝鮮及臺灣ノ統治方針ニ關スル事項

- 一 朝鮮及臺灣同胞ノ皇民化トハ如何ナル内容ヲ意味スルヤ
- 二 所謂「皇民化」方策トシテ具體的ニ實施シツアル事項如何
- 三 朝鮮及臺灣ニ關スル統治方針ニ基キ内外地ノ一体化ヲ期スル爲從來實施シタル施策ノ大體如何
- 四 朝鮮及臺灣ニ於ケル教育ノ方針如何
- 五 朝鮮及臺灣ニ於ケル宗教政策如何
- 六 朝鮮及臺灣ニ於ケル大政翼賛關係ニ對スル今後ノ指導方針如何
- 七 朝鮮人及臺灣本島人ノ官吏登用ニ關スル方針如何
- 八 朝鮮人及臺灣本島人ニ在勤俸ヲ給スル理由如何
- 九 朝鮮及臺灣ニ對スル人口政策如何
- 十 朝鮮ノ内臺結婚ニ對スル政府ノ方針如何
- 十一 朝鮮及臺灣ノ親族ノ相續制度ヲ内地ノ夫レト一致セシムル意圖ナキヤ又之ヲ實行ハ容易ナリヤ

目次

- 十二 創氏創姓實施ノ理由並ニ之ガ結果(利弊)如何
- 十三 思想的前提ヲ有スル者ニ對シ在來總督府ハ如何ナル方針ヲ以テ臨ミ來レルヤ
- 十四 譯文並譯文出版物ニ對スル方針如何
- 十五 朝鮮内ニ於ケル内鮮差別撤廢ハ内地人ノ進出ヲ不可能ナラシムル疑ナキヤ
- 十六 朝鮮在任民ノ帝國議會ニ加フルハ將來英國ニ於ケル「愛蘭」問題ノ如ク困難ヲ惹起スル虞ナキヤ

第二 外地在任民ニ對スル參攷權賦與ニ伴フ諸制度ノ運營ニ關スル事項

- 一 外地在任民ニ對スル參攷權賦與ニ伴ヒ朝鮮及臺灣ニ於ケル立法制度(制令及律令)ニ變更ヲ加フルハ必要ヲ認メサルヤ
- 二 内外地法域撤廢ニ伴ヒ從來公布ニ係ル法律並ニ制令及律令ニ付テハ如何ナル措置ヲ講ズルヤ
- 三 朝鮮及臺灣ノ司法制度ニ付内地ト一元化シ考ナキヤ
- 四 外地ノ綜合行政制度(總督統治)ハ大約如何ナル時期迄存續セシムル方針ナリヤ
- 五 食糧行政ノ重要産業行政ニ關スル内外地一元化ノ必要ヲ認メザルヤ
- 六 朝鮮總督府中樞院及臺灣總督府評議會ノ今後ニ於ケル運營方針如何



第三

- 七 朝鮮及臺灣ニ於ケル地方自治制度運営方針如何
- 八 朝鮮ニ國籍法ヲ施行スル意思ナキヤ
- 九 朝鮮及臺灣ノ現狀ニ關スル事項
  - 一 朝鮮及臺灣ニ於ケル民衆向上ノ狀況如何
  - 二 朝鮮及臺灣ハ帝國版圖ニ對シ如何ニ善與シツアリヤ
  - 三 朝鮮ニ於ケル國民總力聯盟及臺灣ニ於ケル皇民奉公會ノ現況如何
  - 四 臺灣ニ於テ總督ト軍司令官ノ兼任ヲ實施セシ理由如何
  - 五 最近ニ於ケル朝鮮人思想犯罪ノ狀況如何
  - 六 朝鮮貴族ノ現狀如何
  - 七 公選ニ依リ衆議院議員ノ選舉ヲ行フ場合如何ナル地位職業ノ人物ヲ選出スルヤ
  - 八 府縣制ト道制ト州制トノ差異如何
  - 九 市町村制ト府邑面制ト市街庄制トノ差異如何

第四

- 一 内地在任朝鮮人ニ對シテ方針如何、將來歸郷セシムル考ナリヤ、内地ニ同化包容シ得ル程度ナント考フルヤ
- 二 移籍ニ關スル政府ノ方針如何、許可制度ヲ執ル場合如何ナル條件ヲ附セントスルヤ
- 三 内地在任朝鮮人ノ保護等非常時ニ於ケル保護ニ付何等ガ措置ヲ講ジツクアリヤ
- 四 内地在任朝鮮人ノ「團取別」ノ實狀並ニ之ガ防遏對策如何

第一 朝鮮及臺灣ノ統治方針ニ關スル事項

REEL No. A-0505

0078

アジア歴史資料センター

一 朝鮮及臺灣同胞ノ皇民化トハ如何ナル内容ヲ意味スルヤ

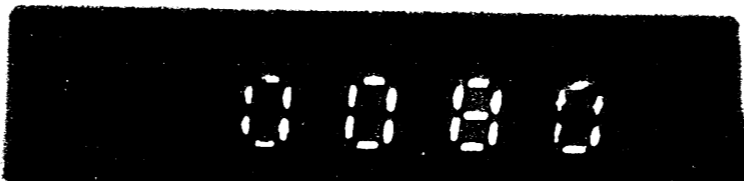
皇民化ノ概念ハ精神ニアリ、我國體ニ屬スル諸國タル信念ヲ把握スルヲ第一義トナスモ之ノ精神ハ自カラ外部ニ現ハレテ敬神崇祖ノ觀念トナリ、風俗習慣ノ以善トナリ道義觀念ノ向上トナルハ當然ノ筋道ナリ尙舊來ノ陋習トモ言フベキ勤勞精神ノ缺除、尙文卓武ノ風習ノ如キモ之ガ改善ヲ要スルハ當然ナリ

二 所謂「皇民化」方策トシテ具体的ニ實施シツツアル事項如何

答 國體概念ノ明徴ヲ中核トスル國民教育ノ普及ヲ初メトシテ國語ノ

普及之ガ常用ノ獎勵、風俗習慣ノ改善、勤勞尊重觀念ノ養成等ハ

益ヘテ外地在住民ノ皇民鍊成ヲ目標トシテ行ヒツツアル事項ナリ



三 朝鮮及臺灣ニ對スル統治方針ニ基キ内外地ノ一体化ヲ期スル爲メ  
來實施シタル施策ノ大體如何

答 民心ノ醇化民度ノ向上ヲ計ル方策トシテハ國體觀念ヲ中核トス  
ル國民教育ヲ第一義トシ國語ノ普及ニ努メ尙社會教育ニモ力ヲ致  
シツツアリ其ノ他風俗習慣ノ改善公德心ノ涵養衛生思想ノ普及等  
多年ニ亘リ指導ニヨリ頗有當時ト全ク面目ヲ一新シツツアリ制度  
ノ關係ニ於テハ漸ク遂テ内地ノ法律ヲ施行スル方針ヲ執リ租稅制  
度ノ如キモ現狀ニ於テハ内地ノ其レト大差ナキ域ニ達セリ國家總  
動員法モ之ヲ外地ニ施行シ内地同様各級ノ統制ヲ實施シツツアリ  
地方自治制度モ漸次其ノ形式ヲ整ヘツツアリ最近徵兵制度實施  
ニヨリ外地在任民ガ皇軍ノ一員トシテ内地同胞ト何等差異ナキ義  
務ヲ負擔スルニ至レルモ内外地一體化ノ劃期的前進ヲ示スモノ

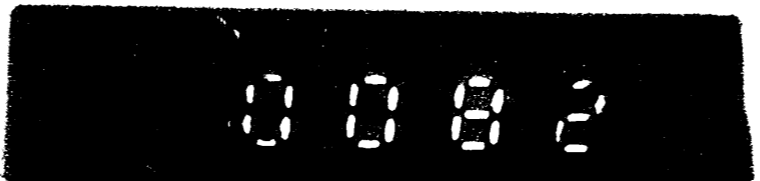
考フ

尙昭和十七年大東亞省ノ設置ニ際シ朝鮮臺灣統治ニ關スル中央ノ  
所管官廳ヲ内務省トセルモ内外地一體化ノ主旨ヲ明カニセルモノ  
アリ



四 朝鮮及臺灣ニ於ケル教育ノ方針如何

答 國民學校教育ニ於テハ教育勅語ヲ奉讀シ國體教育ヲ中核トスル  
 皇民鍊成ヲ圖ルヲ根本ノ方針トシ就學率ノ向上ヲ圖リ中等教育ニ  
 於テハ實業教育ニ重キヲ置キハ大學專門學校ニ付テハ熾烈ナル進  
 學ノ希望ニ應ヘ施設ヲ充實シ、境地ニ於テ教育ヲ受ケル便宜ヲ與  
 フル方針ハリ理工科系ヘノ進學ヲ誘導スル方針モ内地ト同様ナリ  
 尚ホ外地ノ特殊事情ニ鑑ミ學校教育ノ外青年鍊成ハ婦女子ノ教育  
 ニ就テハ特ニ力ヲ注ギツツアリ





五 朝鮮及臺灣ニ於ケル宗教政策如何

答 朝鮮及臺灣ノ在來宗教ニ付テハ之カ國體ニ反シ或ハ社會風教上

有害ナリト認メラレザル限リ特ニ禁壓セザル方針ヲ執リツツアリ

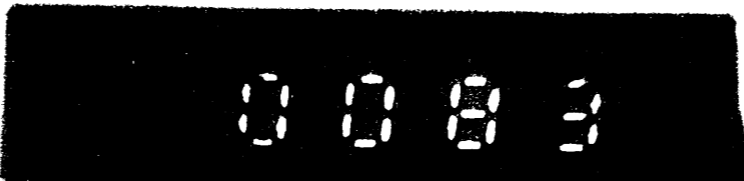
然レドモ將來ニ於テハ外地在任氏ガ其ノ宗教ニ於テモ内地人ト其

ノ執ヲ一ニスルニ至ルハ望マシキ所ナルヲ以テ内地宗教家ノ活動

ヲ促シ現在在任内地人ノミヲ對象トセル内地宗教ヲ漸次外地人ニ

モ滲透セシメ勸モスレバ邪教送信ニ是リ易キ外地ノ在來宗教ニ代

ラシムル方策ヲ籌スル要アリト考ヘ居レリ



六 朝鮮及臺灣ニ於ケル大政翼賛団体ニ對スル今後ノ指導方針如何  
 答 大體ニ於テ大政翼賛會ニ對スル政府ノ指導方針ト異ルトコロナ  
 シ  
 尙朝鮮臺灣ノ特殊事情ニ鑑ミ特ニ内鮮内臺人間ノ融和協力ニ本組  
 織ヲ活用シツツアリ



七

朝鮮人及臺灣本島人ノ官更登用ニ關スル方針如何

答 今後更ニ廣ク官廳ノ門戸ヲ開放シ人材ヲ登用スル方針アリ

尙官廳ニ限ラズ公共團體、重要諸會社等ニ對シテモ此ノ方針ヲ以

テ朝鮮人、臺灣人ノ採用ヲ恣意シツツアリ

八

朝鮮人及臺灣本島人ニ在勤俸ヲ給スル理由如何

朝鮮人ノ民度、資質向上シツツアル實情ニ即シ更ニ其ノ發憤向上ヲ圖  
リ内鮮融合一體の協力ノ下ニ益々奉公ノ誠ヲ致サセシムル爲内地人ト  
同様ノ外地在勤俸ヲ給シ且近々支給範圍ヲ擴大セントスルモノアリ

九

朝鮮及臺灣ニ對スル人口政策如何

將來增加人口ノ捌口ヲ何處ニ求メントスルヤ

増加抑制ノ措置ヲ必與ト考ヘザルヤ

答

朝鮮臺灣ニ於ケル人口ノ増加ハ各現地ニ於ケル産業經濟ノ發展

ニ依リ尙相當數收容ノ餘地アリト考フルモ朝鮮ニ付テハ内地及滿

洲及北支臺灣ニ付テハ南支及南方諸地域ニ之ガ進出發展ヲ認メザ

ルベシ内地ニ於テ朝鮮人人口ノ無制限ナル増加ハ考慮ヲ要スル間

題ナルモ此等ガ言語風習日常生活ニ於テ全ク内地人化スル場合ニ

於テハ之ガ増加ヲ憂慮スル必要ナルベシ人口増加ノ抑制ハ實行

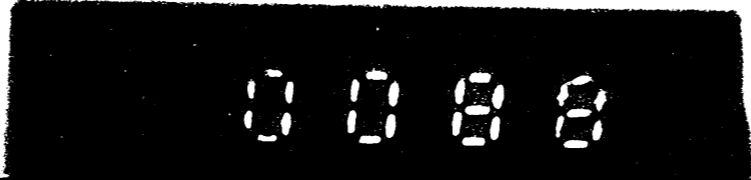
至難ニシテ且孰ルモ非ズ但シ朝鮮臺灣共過早増ノ亂習ヲ戒

止メ結婚年齢ヲ適當ニ引上ゲルコト至當ニシテ之ニ依リ或ル程度

急激ナル増勢ヲ緩和シ得ルモノト考フ

十 内 婚、内 婚 結 婚 に 對 スル 政 府 ノ 方 針 如 何

答 内 婚 間 ノ 結 婚 ハ 大 正 七 年 以 來 内 婚 間 ノ 結 婚 ハ 昭 和 八 年 以 來 制 度  
ト シ テ ハ 認 メ ラ レ 居 ル モ 政 府 ト シ テ ハ 特 ニ 之 ヲ 獎 勵 セ ス 亦 抑 止 セ  
ザル 意 度 ヲ 持 シ 來 レ リ 現 在 ニ 至 ル マ デ 兩 者 共 結 婚 ノ 數 ハ 極 メ テ 少  
ク 今 後 モ 急 激 ニ 増 加 スル モ ノ ト ハ 豫 想 セ ラ レ ス 政 府 ト シ テ ハ 今 後  
モ 從 前 同 様 ノ 方 針 ヲ 維 持 スル 考 アリ



十一 朝鮮及臺灣ノ親族ノ相續制度ヲ内地ノ夫レト一致セシムル意圖

ナキヤ、又之ガ實行ハ容易ナリヤ

答 臺灣ニ於テハ判例等ニ於テ現在迄既ニ内地ノ親族ノ相續制度ニ

合致セシムル方針ヲ執リ來レルヲ以テ之ヲ一致セシメルコトハ容

易ナリ

朝鮮ニ於テハ未ダ右ノ域ニ達セザルモ方針トシテハ概可達カニ内

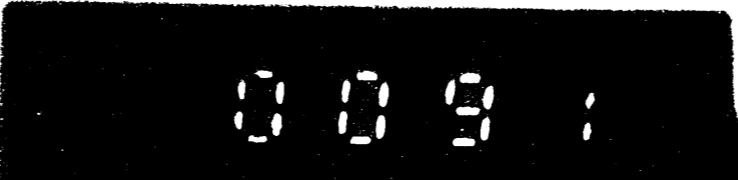
地ト一致セシムル方針ナリ又之ガ實現ハ困難ナルモノト認メズ

十二 創氏制度實施ノ理由並ニ之ガ結果(利弊)如何  
 内鮮一體皇國國民化ノ進度ニ即シ名實共ニ皇國臣民タラシムベク其ノ  
 希望ニヨリ創氏シ得ルノ途ヲ歸キタルモノナリ實施ニ際シ未端ニ於テ  
 多少行過ギタル跡アリトセザルモ大多數ハ其ノ希望ニ依リ進ンテ創氏  
 シ皇國臣民タルベキ決意ヲ悉々固メ現在ニ於テハ内鮮融合一體ノ上ニ  
 好結果ヲ齎シツツアリト信ズ亦ニ假兵制實施セラレタル今日皇軍ト  
 シテ些ノ差別ナク渾然一體トナリテ軍務ニ精勵シツツアリ若シ現在軍  
 隊中ニ金某、李某等混リタリトセバニ思ヒテ致サバ其ノ利弊亦自ラ明  
 カナルモノアリ



十三 思想的歴史ヲ有スル者ニ對シテ在來總督府ハ如何ナル方針ヲ以テ臨  
ミ來レルヤ

思想的歴史ヲ有スル者ニ對シテハ極力之ヲ善導スルト共ニ一面饒柔ニ  
取締ルベキハ敢乎彈壓スル等其ノ導向ヲ計ルト共ニ容易ニ其ノ素志ヲ  
遂ゲシメザル強指導取締ヲ加ヘ其ノ明カニ思想的專心ヲ示シタル者ハ  
真ニ分ニ應ジテ登用スルニ意ヲ用ヒツツアリ



十四 諺文並諺文出版物ニ對スル方針如何

答 國語ノ普及ニ伴ヒ諺文ハ漸次其ノ使用ノ範圍ヲ縮少セララルモ

ト考フ諺文出版物ニ付テモ漸進的ニ之ヲ減少ヲ見ル如ク適當ニ

指導スル方針ナリ

十五 朝鮮内ニ於ケル内鮮差別激發ハ内地人ノ進出ヲ不可能ナラシムル  
 疑ナキヤ  
 内鮮ノ差別激發ト言フモ人自ラ種々相導アリテ之ニ甚キ差別的處遇ヲ  
 受クルコト當然ナリ、内地人タルモノ莫ニ大イニ發憤精進シ指導的實  
 質ノ涵養ニ努メ其ノ相導ノ處遇ヲ受ケツツ大ニ進出發展スルノ氣概  
 アルヲ望ム

一六、自治の在任氏ノ市選議員參加ヲ認ムルハ將來英國ニ於ケル「愛蘭」  
 問題ノ非キ困難ヲ惹起スル虞ナキヤ  
 愛蘭問題ガ英國ヲ圍マシタル根本ノ原因ハ英國ノ愛蘭統治方策ニ  
 在リ。即チ経済的ニハ愛蘭ヲ農業地域ニ止ムル方策ヲ執リテ工業  
 ノ勃興ヲ妨ケ且ツ愛蘭ノ大部分ハ英國在任大地主ノ所有ニ歸シ搾取  
 至ラザルナク、頗々貧窮スル狀態ニ陥ルメシ愛蘭人ハ生活ノ途ヲ求メ  
 テ或ハ海外ノ凶谷ニ死リ、或ハ年々移リテ不大陸ニ渡ル慘状ヲ呈セ  
 リ。況則ニ於テモ英國ノ税制ヲ愛蘭ニ延布シ貧窮ナル愛蘭經濟ヲ其  
 ノ負擔ニ強ヘザラシメタリ、又宗教政策ニ於テハカトリック教ヲ平  
 等ニ愛蘭ニ英國々教ヲ強ヒ國政教育ノ經費ヲ愛蘭人ニ負ハシムルヲ  
 欲テセリ。

自治の二ハ休守黨ト對立セル目田黨カ自己ノ無勢弱旅ノ爲ニ愛蘭選  
 民議員ヲ利用セントシテ自治法案ヲ提案シ、腐敗コレカ原因トナリ  
 テ目田ノ兩方ヲ然シ愛蘭代表議員ニ内訌ヲ起シカサレタルノミナラ  
 ス爾後ニ於テハ獨立運動ヲ企ツル者ニ對シ苛烈ナル排逐ヲ加ヘ民族  
 感情ヲ更ニ激化セシムルノ感ヲ致セリ。

帝國ノ朝鮮ニ對スル統治方策ハコレト至ク美レリ、且ツ諸般ノ情勢  
 ハ大正末期乃至昭和初期ト現在ト皆シキ變化ヲ遂ゲツツアルハ在露  
 ニ極ス。

以上より之ヲ見レバ帝國ハ併合以來豆畑ノ資本ヲ投ジテ愛蘭ノ  
 以て父道ノ變遷、各種資源ノ開發ヲ圖リ取進ニ於ケル愛蘭物價高  
 ノ安定、市場ハ農村經濟ヲ著シク向上セシメ（大正末期ヨリ昭和



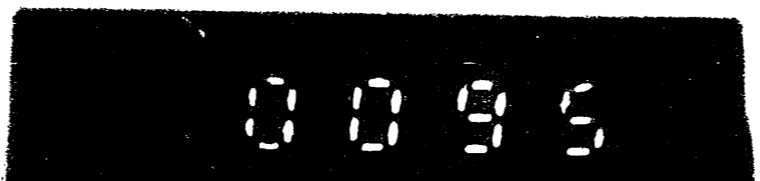
初年ニカケテ生ジタル朝鮮人ノ内地、滿洲ヘノ流出傾向止ム  
タルノミナラス昭和五、六年ヨリ頗ニ盛トナレル電力並ニ礦産實  
業ノ開發、各種工業ノ勃興ニ依リ朝鮮ノ經濟ハ著シキ發達ヲ遂ケ  
兵ノ民衆ハ亦隨時間上ヲ見ツツアリ。

二、示教ニ關シテハ朝鮮ニ見ルベキ在來宗教ナク、帝國モ亦固有ノ宗  
教ヲ朝鮮人ニ強ヒルコトナシ美宗教徒間ノ思想の對立ノ如キ當初  
ヨリ生ゼズ、他國の思想ヲ以テスル教育ハ朝鮮人ノ欲求ニ應ヘテ迄  
午首及シ民心ノ變化ニ大ナル影響ヲ爲シツツアリ。

三、政治的ニ之ヲ觀ズレバ在年ノ朝鮮民心不安ハ主トシテ外來ノ威嚇  
或ハ帝國内部ノ思想動搖ノ反映ニシテ即チ大正八年ノ萬歲事件ハ  
前大戦後ノ民族自決、小民族保護ノ世界的思想ニ榮セルモノナ

リ又昭和初年期ニ於ケル動搖ハ内地ニ於ケル共產主義運動ノ循  
獄ニ影響セラレタル所多シ

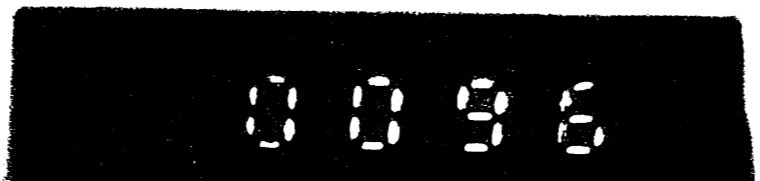
兩明事件ヨリ又平等愛ヲ經テ大東亞戰爭ニ至ル各種殺害ニ帝國自  
身ノ國民思想ノ確立、帝國ノ實力ニ對スル認識、實感經濟下ニ於  
ケル小國獨立ノ困難ノ認識等ハ朝鮮ニ於ケル思想運動ノ中核ヲ爲  
ス知識人ノ心理ヲ一變センメツツアリ。今日大多數ノ者ノ思想ハ  
帝國ノ統治下ニ於テ内地ノ差別撤廢平等待遇ヲ求ムル傾向トナリ  
獨立ヲ夢ミル者ノ如キハ極メテ少數トナリ、在年有識者壯年ノ大  
部カガ心算ニ獨立ヲ願ハズ日露トセル時期ニ比シ眞ニ論世ノ感ア  
リ。更ニ歐兵制ノ實施ニ依リ子弟ヲ戦線ニ送リツツアル多數ノ家  
庭ヲ通ジ一成ノ民心ハ帝國トノ運命天同感ニ徹シ大東亞戰局ニ多



天ノ關心ヲ有スルニ至リツツアリ。

明治代表者カ帝國議會ニ參加ノ義ニ於テ一種ノ民族的政黨ヲ結成  
スルノ虞ハ必シモ絶無ニアラザルベシ、少クトモ朝鮮統治ニ關ス  
スル點同題ヲ取リ上ケテコレヲ論議スル事アルベキハ當然豫期ス  
ベキ事ニ屬ス、然レドモコレカ愛蘭問題ノ英韓議會ニ於ケル如キ  
深刻ナル容積ヲ具スルニ至ルヤ否ヤハ主トシテ今後ニ於ケル朝鮮  
統治ノ如何以テ帝國議會ノ絕對多數ヲ占ムル内地人議員ノ態度如  
何ニ依ルモノニシテ現地ノ統治カ内鮮人間ノ差別意識ニ向ツテ進  
ミ朝鮮人有職權ニ進出ヲ許イテ其ノ前途ニ希望ヲ與ベ、又帝國議  
會ガ初來ノ議員ヲ英分子トシテ取扱フ事ナク内地人議員ト無差別  
ニ処スル以上コレ等朝鮮代表議員ガ内地人議員ト俾然一體入政與

實ノ實ヲ奉グルニ至ルベキハ疑ヲ容レズ、朝鮮統治ノ諸問題ニ關  
シ自由ニ其ノ意見ヲ吐露セシムル事ハ一回議會政治ニ反背ノ假  
ヲ與ヘ他國在任氏ノ忠愆鬱積ヲ解消シ其ノ心運ヲ明助ナラシムル  
効果大ナルベシト信ズ。



第二  
事項  
外地在任民ニ對スル行政權擴張ニ伴フ諸制度ノ運営ニ關スル

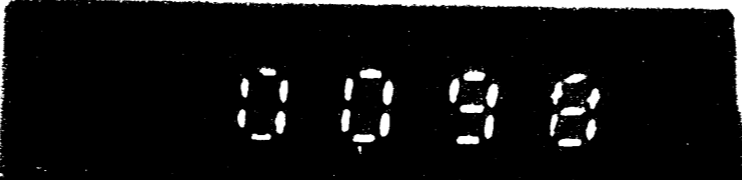
REEL No. A-0505

0097

アジア歴史資料センター

外地在任民ニ對スル參政權賦與ニ伴ヒ朝鮮及臺灣ニ於ケル立法制  
度（勅令及律令）ニ變更ヲ加フル必稟ヲ認メサルヤ

答 外地在任民代表者ヲ帝國議會ニ參與セシムル以上内外地法域ノ  
區別ヲ撤廢シ外地ニ對シテモ法律ノ施行ヲ本期トスベキハ選論上  
當然ナリ但シ外地ノ現状ニ徴シ法律施行ニ際シ特例ヲ設クル必要  
アル部面モ尠カラズ政府トシテハ此等ノ點ヲ併セ考慮シ現行勅令  
及律令制度ノ基礎法ノ改正ヲ考究スル心算ナリ





二 内外法域撤廢ニ伴ヒ從來公布ニ係ル法律並ニ訓令及條令ニ付テ

ハ如何ナル措置ヲ講ズルヤ

答 法域撤廢ニ際シテモ現行法制ノ建前ヲ一舉ニ以變スルハ不可能

且不適當アリ、附合、準令其ノ他外地ノ現行法令ハ差當リ有候

ルモノトシ漸ク追ウテ之ヲ改メ内地ノ法制ニ統一スルノ方策ヲ取

ルベキモノト考フ

樺太ノ内地編入ニ際シテモ之ノ方針ヲ以テ措置シツツアリ

三

朝鮮及臺灣ノ司法制度ニ付内地トノ一元化ヲ圖ル考ヲキヤ

答

根本ノ方針トシテ能フ限リ遠ニ内地間裁判並ニ司法行政機構

ノ一元化ヲ圖ルベキモノト考フルモ外地統治ノ現状ニ於テハ<sup>之ガ</sup>特ニ

激察機關ヲ總督ノ下ニ置ク必妥未ダ解消セラレタリト見ルヲ得ズ

實施ハ外地ノ實情ニ則シ漸進的ニ行フベキモノト考フ



四 外地ノ綜合行政制度（總督統治）ハ大約如何ナル時期迄存続セシ

ムル方針ニシヤ

答 綜合行政制度ノ解體ハ外地ノ民衆ハ治安狀況ハ外地在任長ノ皇  
民化等ノ狀況ガ内地ノ府縣ト大差ナキ程度ニ達セル時ニ於テ之ヲ  
行フベキモノト考フ綜合行政ノ解體ハ行政各部門ノ性質ニ應ジ内  
地ト一元化ノ必要大ナルモノヨリ順次之ヲ綜合行政ヨリ離脱セシメ  
ムル方法ヲ執ルヲ適當ト思料ス

